No.176　令和７年８月15日

発行　大崎町議会　〒899-7305　鹿児島県曽於郡大崎町仮宿1029番地
編集　広報広聴常任委員会　TEL(099)476-1111　内線310・311
FAX(099)476-3979

おおさき 議会だより

笑顔あふれるプール活動（大崎幼稚園）

６月定例会

こんなこと決めました

- 町有地処分特別委員会…… 2
- 令和７年度補正予算…… 6
- 町政を問う（一般質問）…… 7
- 議員と語る会の募集…… 16
- インタビュー（ピックアップおおさき）…… 17
- 町民の広場・編集後記…… 18

セット㈱へ売却　校舎は払下げ

問　道路交通安全対策はどうなっているか。

答　一部計画がなされている箇所もあるが、今後状況を把握しながら、前向きに検討していく。

問　契約期間については 10 年間となっているが、その間、他の事業者へ賃貸契約も可能なのではないか。

答　提案内容に基づいた事業を行うことが趣旨なので、基本的に全部を又貸しすることは想定していない。

問　提出された事業計画では、地域住民との関わりが希薄になっているような気がするがどうか。

答　様々な組織や地域住民との連携については、現段階でははっきり決まっていない。

問　投資計画では 20 億円から 25 億円投資するということだが、具体的な事業内容が不明確である。どのような計画となっているか。

答　事業内容は主に油化事業であり、大手企業との業務提携で、廃プラスチックから油を生成することである。グループ企業であるロンツグループや大手企業との連携を進めていく。

問　国県の補助事業が活用された場合、本町は関わりを持つのか。

答　おそらく国の補助金を想定していると思われるが、企業が国へ申請する補助金は、本町を経由しないものと考えている。ただし、誘致企業として本町と立地協定を締結した場合は、大崎町企業立地雇用促進補助金として、最大２億円が補助される。

問　当該土地を売却した場合、土地と建物の固定資産税の見込み額は。

答　建物については年間 130 万円、土地については年間 40 万円の税収を見込んでいる。

問　廃ビニール飛散防止について確約は求められないか。

答　保管方法はフレコンバックを使用し、高さは１ｍ未満とする。追加対策として、グラウンド境界にフェンスの設置を予定している。適正な管理体制に努める。

○本件に対しては、契約後の不確定要素が多く、引き続き事業監視の徹底や情報開示の拡充、契約履行の担保など徹底していくよう要請。

特別委員会 4,665万円

第一中学校跡地 Salア（セイル）

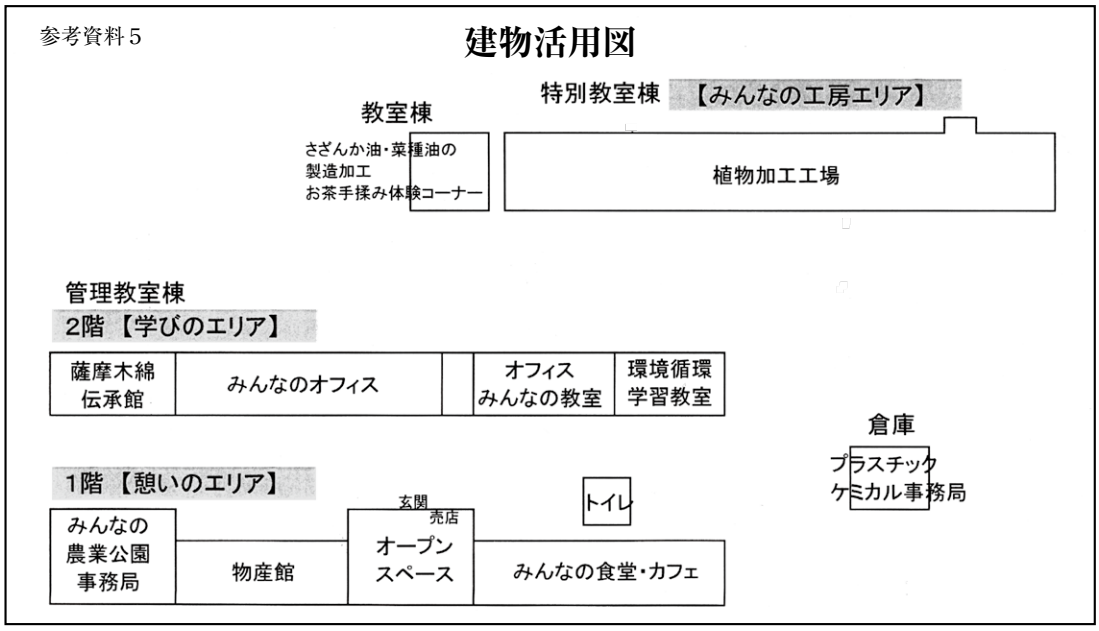
大崎第一中学校跡地利用者に関する募集要項

趣　　旨：平成 26 年に廃校になった校舎及びグラウンドなど有効活用し、産業振興、雇用促進、福祉の向上に資する事業を実施する事業者を募集。
提案事業は原則 10 年以上実施することとしている。

応　　募：Sal アセット㈱　1 社のみ
Sal アセット㈱　代表取締役　澤村恵子氏
令和 5 年 12 月に本町に設立。既存のカラル㈱の一部業務を引継ぎ、みんなの農業公園などの受け皿法人。農産加工・地域住民の交流施設・食堂等に校舎敷地を活用。現在営業実績無し。

売却面積：25,496.41㎡

参考資料５



特別委員会審議

現地調査説明会

イアルカンパニーへ売却

問 更地復元工事 1 億 2,000 万円で行う敷地残余杭 188 本はなぜ残っていたか。

答 平成 30 年度の PFI 事業「大崎町スポーツ交流施設整備事業」で、消防詰所、宿泊施設などを建設する予定であったが、事業を中止再利用の可能性から残した。

問 杭抜き工事やフェンス撤去等における振動や雑音に対する対策はどのような対応がなされるか。

答 鹿児島市内でも実績のあるフライヤー工法と言われる工法を用いて振動などの軽減をはかる。

問 工事による近隣住宅等の亀裂や爆裂などの被害が出た場合の補償はどうなるのか。

答 近隣住宅などの現状を調査（写真など）して、工事による損傷であれば工事業者と大崎町で補償することになる。

問 交通量の増加による交通渋滞や地域住民の交通安全対策はどのように対応するのか。

答 菱田小学校の正門側には店舗の入口は設置しないよう配慮するとのこと。店と協議をして、契約書の中に交通安全対策の文言を挿入するよう協議したい。

問 24 時間営業であることから近隣住民の生活環境への影響がかなりあると思われるが、住民説明会の開催はどうするのか。

答 大規模小売店立地は大型店立地法の対象となることから、想定される雑音・道路交通安全対策・一部ゴミなども協議の対象になると思われる。

問 先に菱田公民分館から提出された請願書について、対応策はあるのか。

答 中学校跡地ではなく他の公共用地の活用、菱田改善センター、民有地の借用などを検討している。

議会からの要請により開催された住民説明会

※土地の処分に関する議案は、6 月 25 日本会議において特別委員会委員長（鷲東慎一議員）報告のあと賛成討論（藤田香澄議員）があり、全会一致で可決された。

特別委員会 5,029万円

菱田中学校跡地 ㈱トラ

「土地の処分」議案提出の経緯

R6.2.20　菱田公民分館にて跡地、地域コミュニティについて意見交換会
2.27　議会へ「菱田中学校跡地活用に関する請願書」 議会は同請願可決
10.23　町と菱田公民分館にて意見交換会開催
11.18　本町と㈱トライアルカンパニー間で誘致に向けた協議開始
R7.5.19　㈱トライアルカンパニーより書面による出店協議申込書が提出される
5.26　出店協議申込に対し受理、受理書を発行
6.10　議会に対し菱田中学校跡地「土地の処分について」議案が出される
6.13　議会は特別委員会を設置
売却面積：17,960.87㎡

問 **雇用従業員 100 名程度を計画されている。既存企業からの転職も心配される。また、既存の物品販売業への影響も大きいものが予想される。既存事業所など支援は考えているか。**

答 十分懸念する点である。商工振興に関しては、商工観光課と協議し共存共栄できる対策を協議したい。

３日間に及ぶ特別委員会審議

令和7年度一般会計補正予算

総務厚生常任委員会

議案可決

中央分団消防詰所新築工事 2億円

質問 研修センターグラウンドは、大崎ソフトボールスポーツ少年団が利用しているが、影響はないか。

答弁 昨年11月にスポーツ少年団関係者と協議した。グラウンドの使用面積は狭くなるが、特段、広さに関しては問題ないと聞いている。ただし、ソフトボールが飛び越えない高さのフェンスを設置するなどの対策は講じていく。

中央分団消防詰所建設予定地

健康アプリおよびデジタル地域通貨アプリを活用した事業 407万円

要望 健康アプリは、スマートフォンを所持していなければ、ポイントを利用できないとのことだが、スマートフォンの所持不所持に関わらず、サービスの差異が極力なくなるような事業を展開されるよう要望した。

※デジタル地域通貨とは、通常の法定通貨（日本銀行が発行するお札や政府が発行する硬貨）とは異なり、自治体が独自に発行し、地域内の商店やサービスで利用できる電子的な通貨のことで、スマートフォンアプリや地域通貨カードを通じて、キャッシュレスで使えるのが特徴。

菱田中跡地の土中杭やフェンスブロック等の撤去工事 1億2千万円

土中杭撤去後、売却予定の菱田中跡地

質問 菱田中跡地の土中に杭が残っているとのことだが、その理由は。

答弁 当時は合宿施設等の拠点施設を整備する計画があり、土中の杭も有効活用する予定であった。

質問 今回の企業誘致にあたり、杭を撤去する必要があるのか。

答弁 土地を売却予定の企業から、障害物のない状態での引き渡しを求められているため、杭の撤去が必要になった。

農業公社の機械導入に関する経費 592万円

質問 トラクターと水田ハローの購入費用とのことだが、選定理由および稼働面積は。

答弁 農業機械は農業公社が選定したもので、作業内容は耕うんと代かきである。

今後、益丸地区および有村地区で進められる基盤整備を見越して購入するものであるが、稼働面積はピーク時で約45ヘクタールを見込んでいる。

要望 今後の農業の在り方を考えた場合には、ドローンの活用も多くなると思われるため、農業機械の選定にあたっては、考慮されるよう要望した。

一般質問

8議員が登壇 町政を問う

富重幸博 議員
- 大崎町歴史資料編纂について
- 大崎町歴史遺産の情報管理について

P 8

児玉孝徳 議員
- 人口減少対策と移住定住促進について
- 高齢者福祉について

P 9

岡元修一 議員
- 空き家対策について
- 持続可能なイノシシ対策の強化について

P 10

中倉広文 議員
- 町長選挙について
- 文化財の保護と活用について
- 旧大丸保育園跡地利用について

P 11

藤田香澄 議員
- 地域サービスの担い手づくりと協同的なまちづくりの推進について
- 多様な働き方を後押しする創業支援の在り方について

P 12

中山美幸 議員
- 教育施設の管理について

P 13

稲留光晴 議員
- 第３次大崎町総合計画後期の答申について
- 住宅リフォーム助成制度の創設について

P 14

草原正和 議員
- 住民生活の質の向上に向けた専門職の導入と活用について
- 過去の一般質問において「検討する」とされた案件の進捗と今後の対応について

P 15

一般質問とは

町長などの執行機関に対し、業務の執行状況や将来の方針などについて議員個人として政策論争を行うものです。

二次元コード※をスマホ等で読み込むと各議員の一般質問を視聴できます。

※バーコードを拡張するために開発された二次元コードは、端末を使って簡単にコードを読み取ることができます。

問い合せ先：大崎町議会事務局　TEL ０９９−４７６−１１１１（内線　３１０・３１１）

町史編纂の認識を問う

町民の記憶と誇りを未来につなぐ

富重 幸博 議員

問 大崎町史編纂の重要性について、どのような認識を持っているか。

文化的基盤づくりと認識

答 **町長** 単なる記録作業ではなく、町民の記憶と誇りを未来につなぐといった文化的基盤づくりという観点からも、大変意義があると認識している。

教育的意義があると認識

答 **教育長** 大崎町への関心や誇りが芽生え、帰属意識が高まることなどの教育的意義があると認識している。

取り組み状況はどうか

問 具体的にどのような取り組みを進めてきたか。

現代史の執筆に着手

答 **教育長** 令和4年度までは組織体制づくりを進め、大崎町史編纂委員会を開催した。令和6年度については、有識者による執筆分担を依頼し、株式会社ぎょうせい九州支社と業務委託契約を締結し、現代史の執筆に着手している。

資料収集についてはどうか

問 現時点での資料収集点数は、どの程度の規模になっているか。

資料収集は920点である

答 **社会教育課長** 現時点で執筆に必要な収集資料は、国や県および本町の書籍資料等を合わせて920点である。

町史編纂に係る関係者は

問 町史編纂に係る関係者はどのような構成か。

町内委員に学識経験者を含めて構成

答 **社会教育課長** 文化財保護審議会委員4名、歴史探学会大崎の会5名、役場OB7名、鹿児島探研の会1名の計17名で構成し、町史編纂委員会については、教育長を委員長とし、町史編纂調査部会から委員4名と有識者として、志學館大学教授の原口泉先生、鹿児島探研の会代表理事の東川隆太郎先生を顧問として参加いただいている。

編纂委員会の様子

町史編纂委託事業の成果は

問 令和6年度町史編纂事業支援業務委託完了後の成果等はどうか。

刊行までのスケジュール等が鮮明に

答 **社会教育課長** 令和8年度の発刊を目標として、編集企画業務、資料収集および分析業務をはじめ、デジタルアーカイブの作成、町広報紙のPDF化など、目次構成等、刊行までのスケジュールや資料収集の方向性が鮮明になった。

歴史資料館建設の考えはないか

問 社会教育学習、民俗学、郷土史研究に活用できる歴史資料館（仮称）の建設については、どのように考えるか。

今後検討していく

答 **教育長** 歴史資料館建設については、必要性や意義を十分認識しており、今後、町長をはじめ、町民のみなさん方のご意見を聞きながら検討したい。

郷土資料展示室（町中央公民館）

若者・子育て世代の定住促進を

補助金や空き家改修実証事業に取り組んでいる

児玉（こだま） 孝徳（たかのり） 議員

問 人口減少対策で、若年層・子育て世代の定住促進策はどのようなものがあるか。また、空き家バンクの利活用促進の取り組みについてはどうか。

答 町長　子育てしやすい環境や生活を支える施策の充実が重要であり、定住住宅取得・企業立地促進・新規創業・空き店舗対策事業などの補助金のほか、地域応援商品券発行など町内産業の振興及び雇用の促進をはかる。ほかに空き家等リフォーム補助制度があり、空き家改修実証事業にも取り組んでいる。

空き家改修実証事業に取り組んでいる

子育て支援施策の充実を

問 子育て支援施策の充実と、さらにオンラインやアプリを活用した支援策は考えられないか。

答 町長　保育料や産後ケアの無償化、出産祝い金10万円支給や未就学児を対象に医療相談アプリを導入している。来年度は相談窓口の子ども家庭センターを開設する予定であり、小児科のオンライン診療なども考えていく。

子ども家庭センターを開設する

答 教育長　入学援助金制度3万円支給や学校給食費の無償化、ブックスタート事業がある。今後は、小中学校体育館への空調設備を計画している。

移住者との交流を促進する取り組みに交付金を

問 移住者は地域のことがわからないなど不安がある。交流イベントを企画し、地域の文化や習慣を紹介する場を設けた集落に交付金を支給できないか。

異文化交流（ミャンマーのお団子づくり体験）

今後の課題として考える

答 町長　移住者が地域になじみ、地域住民との相互理解の場は重要であり、今後の課題として交付金支給は考えていく。

高齢者の社会参加の促進

健康増進事業の展開は

問 介護予防、健康増進のためには高齢者の社会参加の促進が大切と考えるがどうか。

健康アプリで意識向上を

答 町長　健康アプリで地域通貨と連動したポイント付与を導入予定であり、健康意識の向上で介護予防に努めてもらう。

見守り活動や助け合い活動など今後の強化策は

問 見守りにおいて介護サービスを受けていない方や交流の少ない方への強化策はないか。

地域住民の見守りや民生委員などの訪問活動がある

答 町長　地域住民によるコミュニティ活動、民生委員や地域包括支援センターなどの訪問活動、保健師、看護師等による健康の受診勧奨訪問などがある。

介護保険料などの社会保障費増加への対策を

問 介護保険料の増加抑制のため、本当に必要なサービスが効率的に提供されるよう、ケアプランの最適化やサービスの重点化が必要と思うがどうか。

より効果的なケアプランで給付費を抑制していく

答 町長　過剰な提供になっていないかを確認し、地域支援事業や介護予防の充実をはかり、より効果的なケアプラン点検で給付費抑制に努めていく。

本町における空き家問題は
避けて通れない重要課題である

岡元（おかもと） 修一（しゅういち） 議員

問 「大崎町空き家対策計画」の空き家の発生を抑制する重点取り組みとは。

施策の案内と利活用の推進である

答 **町長** 住民向けには、空き家バンク制度の案内。転入、町内転居希望者向けには情報の提供や各補助制度の紹介などである。

資源の有効活用を新たな大崎モデルとできないか

問 残置物撤去補助制度の対象に古物商などを加えて再販、再利用を強化した町独自の持続可能なリユース社会を作れないか。

答 **町長** 法令を確認し、関係各所と丁寧かつ十分な協議の上判断する。

法律や一般廃棄物処理実施計画との関係性がある

空き家を子育て世代に新たな支援策とできないか

問 手頃な住宅提供と新たな補助制度で、生活に余裕を持たせられないか。

答 **町長** 保健福祉、教育分野で補助、給付事業を行っており、制度は充実していると認識している。

さらなる拡充は難しい

空き家バンクは効果的な見せ方ができているか

問 写真の追加や内容の工夫で、より効果的な情報媒体とできないか。

答 **町長** 利用者目線での改善案をいただきながら、魅力的発信を研究していく。

視覚的発信は有効である

増え続ける空き家

イノシシによる農畜産業の被害額は

問 増え続ける現状での農畜産業に与える影響はどのようになっているか。

答 **農林振興課長** 左記のとおりである。

被害額も増え続けている

イノシシによる被害実績

年度	被害面積	被害量	被害金額（千円）
令和４年	84a	8,552kg	959
令和５年	126a	13,454kg	1,271
令和６年	141a	29,915kg	1,626
対象作物：稲、芋類、そば、飼料作物など			

農家からの報告、猟友会からの聞き取りによる

農林振興課資料より抜粋

年間を通して補助対象とできないか

問 生育し続けるイノシシに対するには、有害鳥獣駆除期間の緩和で、切れ間のない支援が必要ではないか。

答 **農林振興課長** 国や県に支援相談、近隣市町や猟友会とも話し合っていく。

国や県と協議していく

くくり罠への支援拡大はできないか

問 設置数の多さから捕獲率が高いが、コストもかかると聞く。会員の資材調達に新たな補助はできないか。

くくり罠

答 **農林振興課長** 「大崎町鳥獣被害対策実施隊」には実費を一部補助しているが、その他の猟友会への補助は考えていない。

現在全会員対象の支援は協議していない

次期町長選挙への考えは

出馬しないことを決意した

中倉（なかくら） 広文（ひろふみ） 議員

問 本年12月20日の任期満了に伴う町長選挙は、本町住民の関心事として大きな話題のひとつとなっている。今後、実施が予定されている町長選挙への所見を伺う。

出馬はしない

答 **町長** 6期目半ば頃から、出処進退について考えてきた。まだまだやれるという自負心と、一方では80歳代になり、健康を過信してはならないと自らを戒めるなど、自問自答してきたが結論として、次期町長選には出馬しないことを決意した。

史跡埋蔵品等の確認にQRコードの活用を

問 現時点で、新たな歴史資料館等の建設が難しいのであれば、それぞれの史跡に設置してある看板等にQRコード等を付けて、既存の郷土資料室の埋蔵品や詳しい説明が確認できれば、史跡等を訪れた関係者の満足度も向上するのではないか。

非常に有効な手法である

答 **社会教育課長** 横瀬古墳やそれぞれの史跡の看板などに、出土遺物や発掘調査の詳細な情報を閲覧できるようQRコード等を付けることは、非常に有効な手法だと考える。

県内２番目の規模を誇る横瀬古墳

旧大丸保育園敷地はどのように活用するのか

問 ようやく施設の解体が始まった当該地だが、今後の活用法をどのように考えているか。

関係部署と協議を重ね検討していく

答 **町長** 地域の方々の意向や、まちづくり計画との整合性をはかりながら、関係部署間で十分に協議を重ね、住民の皆様にもご理解いただけるよう丁寧に検討を進めていく。

意向調査方法と時期について問う

問 どのような手法で住民の意向を確認するのか、また、検討時期について問う。

関係者との意見交換で早い時期に検討する

答 **町長** 大丸公民館役員や自治公民館長との意見交換による聴取や、古墳に関係する大崎町文化財保護審議会、歴史探学会の方などから話を伺えないかと考えており、なるべく早い時期に検討していく。

今後の活用が望まれる旧大丸保育園敷地

※「QRコード」という名称は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

町民主体による「協同労働」の立ち上げを支援できないか

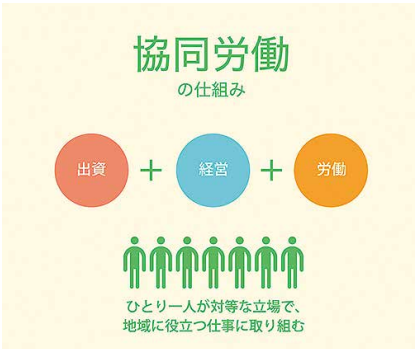
必要な支援措置を協議したい

藤田（ふじた）　香澄（かすみ）議員

問 行政の手が届かない個別具体の地域課題に対して、町民自らが組織し、参画者同士が対等な立場で事業を運営する「協同労働」の仕組みについて、町は把握しているか。

地域課題解決の仕組みとして広がっていると認識

答 **町長**　令和4年に労働者協同組合法も施行され、住民自らが主体となって地域課題の解決や新たなサービスの創出に取り組むことを可能とするものであり、全国各地で活用に向けた動きが広がっていると認識している。日置市においては、弁当配達事業の取り組みが実施され地域の困りごと対応といった効果が生まれている。



協同労働ひろしまホームページより

協同労働の立ち上げ支援をできないか

問 例えば、広島市においては、協同労働を行う団体の立ち上げを金銭面と知識面での支援を行っている。本町として取り組む考えはないか。

協同労働で行っている福祉事業所「国分ほのぼの」の田んぼ作業

必要な支援措置について協議したい

答 **町長**　町民による組織の立ち上げや事務など、必要経費も発生すると思う。改めて地域課題の情報収集や、必要な支援措置を担当課と協議したい。

副業も含めた多様な働き方に合った創業支援制度はできないか

問 本町の新規創業・起業支援補助金について、副業での創業も対象とできないか。

社会の動向に合わせて状況を勉強したい

答 **町長**　現在、当補助金の補助対象者要件は、事業所に勤めていない方及び事業所の役員でない方である。勤務しながら副業、起業という状況に社会がなりつつあるのであれば、もう少し勉強したい。

公共施設の柔軟な運用を

問 創業支援施策の一つとして、町民が既存施設で事業のチャレンジができるよう、町改善センター等において営利目的での使用を認められないか。

他自治体の状況も踏まえて検討したい

答 **町長**　営利目的としての利用は設置目的上認めるのは難しい。一方で、他自治体の対応状況についても勉強したい。

多様な創業支援策を

問 店舗を持たない創業の在り方も後押しするため、本町として空き店舗等をリノベーションしたシェア店舗・キッチン等の設置についての考えはないか。

地域の活力向上の観点からも調査・研究したい

答 **町長**　起業や新規事業への挑戦を後押しし、地域の活力向上をはかる観点から、今後、他自治体の先進事例や実施方法等を調査・研究したい。

学校施設の安全管理はできているか

教育委員会からの要望に基づき予算配分している

中山（なかやま）　美幸（みゆき）　議員

学校からの報告により対応している

問 児童生徒の学習や運動に使用される施設に、改善策が必要なものが見受けられる。安全管理は適切に行われているか。

答 **教育長**　学校は児童生徒の安全確保に支障がある時、委員に報告することになっている。

報告を受け緊急性の高いものから対処している。

学校設置者として点検管理体制はできているか

問 学校側の報告だけで児童生徒や教職員の安全は保障されるか。

学校訪問すると不備な点が多く見られる。学校設置者として、日頃の点検がおろそかになっていることはないか。

学校長が安全面の確保をする

答 **教育長**　児童生徒や教職員の、身近にいる学校長が一番安全面の確保をする。

月1回の定期安全点検、問題が有れば臨時安全点検を実施して緊急措置は学校側で行われている。

放置されている不具合箇所は無いか

問 学校からの報告、議員、学校訪問、保護者からの連絡に対応されていない持留小学校のプール・校門・グラウンド・校舎裏のイノシシ出没防止対策・中学校グラウンド砂の飛散・中沖小学校のぬかるみなど認識しているか。

改修が待たれる黒いマットの部分（持留小）

緊急的に対応する方法はある

答 **教育長**　人の安全が第一、安全面について緊急対応する方法はある。

9月補正で予算措置

答 **町長**　イノシシの問題は学校からの報告は受けていなかった。児童生徒や教職員が襲われる心配もある。フェンスなど対策は必要である。プールについてはプールサイドでケガの恐れもあり、早急に処理すべきと考え予算措置するよう指示する。

設置者として早急に対処する姿勢が必要である

問 学校施設の管理の目的は児童生徒や教職員の生命や心身の安全を確保することであろうと思う。不具合が発生した場合の対応が非常に遅い。迅速な対応がなされないと命に係わる。

一義的には学校からの連絡待ち

答 **教育長**　子どもたちの安全や職員の安全は守るべきと思う。法的には、学校保健安全法28条により当該学校の校長から報告の後、学校設置者として措置をする。

学校からの連絡待ちだけでは命は守れない

問 学校からの連絡待ちではなく学校設置者として法28条についても安全ポイントが示してある。教師は児童生徒の支援に重点をおくべきである。施設の安全管理は学校長の報告に頼ることなく学校設置者の責務ではないか。

情報を共有していく

答 **教育長**　柔軟的に色々な場合がある。子どもたちの安全は第一である。教育委員会から学校に連絡したりして、情報共有をどのようにするか協議する。

総合計画後期の答申の要望・提言をどう考える

大変重要なことであり尊重しながら進めていく

稲留（いなどめ）　光晴（みつはる）　議員

問 総合計画の答申の審議会より出された要望・提言は、大変重みがあると思うが、どう考えているか。

尊重しながら進めていく

答 町長　審議委員の方々に慎重に審議いただき、様々な提言を大変重要なことだと位置づけているので、そこを尊重しながら進めていく。

外国人について農業後継者となりうる課題は何か

問 稼ぐ農業を目指すためには、安定的な農業の担い手を確保していく必要がある。そのためには、外国人についても農業後継者となれるよう対策が必要であるが課題は何か。

永住の証明・国籍の取得が必要となる

答 農林振興課長　外国人に対して農地を在留期間のみ借用できる。

農地取得については厳格化されており、永住の証明、例えば国籍などの取得が必要となる。

インバウンド需要を取り込む事業の検討認識は

問 既存のスポーツ観光施設だけでなく、インバウンド需要を取り込めるような事業の検討とあるが、外国の方でクルーズ船で来られた方が大崎町に来てお金を使っていただくそういったイメージだが認識はどうか。

海岸地を主体に考えている

答 町長　わが町がどういう観光事業として促進したらいいか、自分たちで観光地をつくって新たに外国人の方々が関心を持つようなものをつくりあげていくべきで、まずは海岸地域を主体に考えている。

住宅リフォーム助成制度創設を求める

問 総合計画答申の提言・要望のなかで転入者だけでなく現在居住している町民の方々へのリフォームなど、補助金の拡充で新たに助成制度をつくれないか。

前向きに検討する

答 町長　総合計画の策定にあたり、審議会からの要望・提言があったので、前向きに検討する。

近隣自治体の住宅リフォーム助成などの実施状況（令和７年４月15日現在）

自治体名	R7年度予算額	R6年度実績		
		補助金の上限額・交付額	件数	工事額・波及効果
鹿屋市	7,200万円	20%（100万円超で20万円） 4,834万円	一般 158 件 耐震化改修 5 件	5億
垂水市	一般上限450万円 子育て世代270万円	15%　668万円補正 45万円　341万5千円補正 交付額1,000万円	49件 8件	8,818万9,745円 1,232万3,953円 計1億50万円
曽於市	1,225万円	家財の撤去50万上限７万円 一般住宅　10%上限15万円 交付額1,068万円	74件	空き家　７件 リフォーム一般 1 億 2,280 万円 家財撤去　25 万 空き家リフォーム工事 2,710 万円
志布志市	1,500万円	R6年度 1,500万 交付額 1,388万600 耐震化診断経費の2/3で上限6万円 耐震化改修経費の1/3で上限30万円（実績なし）	106件	総工事額 1億5,700万円
錦江町	500万円	500万予算で交付額317万 65歳以上同居20%　30万 一般10%　15万	17件	
南大隅町	確定なし	予算850万 交付額　476万7,000円 一般15%　上限25万円　25件 子育て20%　上限30万円　4件	29件	総工事費 6,502万6,407円
肝付町	550万円	予算550万 交付額　425万2,000円 15%　100万円に対して15万円 20万円以上が工事対象	20件	

専門職の採用を検討すべき
質の高い行政運営をはかる

草原（くさはら） 正和（まさかず） 議員

問 住民生活の質の向上をはかるため、専門的知見を持つ職員の導入・配置が必要ではないか。

必要性が高まっている

答 町長　現代社会は複雑化・高度化しており、多岐にわたる分野で専門的な知識と経験が求められる。こうした知見を持つ職員を適切に配置することで、より効果的かつ効率的な行政運営が可能となり、住民サービスの向上や町の持続可能な発展につながると考えている。専門性を持つ職員の配置を推進し、質の高い行政運営を実現する。

測量士等の活用をはかれ

問 農地の賃借による集積を進める際、畦畔撤去後の返却時に境界が不明確になる問題がある。耕作放棄地の解消に向け、測量士等の専門職を活用すべき。

先進事例に学ぶ

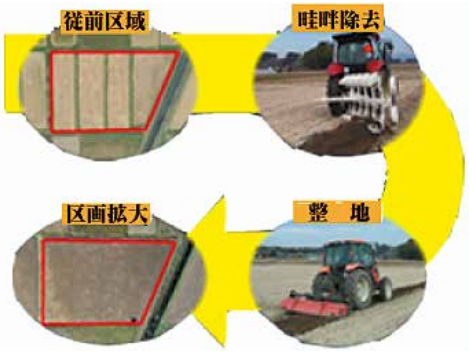
答 町長　農地の集積、効率化を進める上で畦畔の取り扱いに関する課題は重要と認識している。具体的な事例がどの程度あるのか、他自治体での対応について情報収集に努める。

要望を達成できたものは

問 一般質問は各議員が町民の声を代弁する場であり、「検討する」との答弁には大きな期待が寄せられる。過去の質問に対して実現・進展中の具体的な案件はあるか。

検討を進めながら実施

答 町長　教育関係では、給食費無償化、小中学校への冷水機設置などを実施した。菱田中・大崎第一中は企業誘致が進行中である。



簡易な基盤整備

長期化している案件は

問 検討中で検討が長期化している案件は何か。

進めているが継続中

答 町長　地域コミュニティ関連は、菱田地区をモデル地区に指定し、講習会や研修を経て、在り方検討会を開始。子ども館やインクルーシブ公園などの子どもの居場所づくりは、女性活躍推進会議や関係課との協議を継続中である。畜産分野では、飼料・資材・燃油高騰や子牛価格下落への支援を実施しつつ、今後も価格動向を注視し、引き続き支援策の在り方を検討していく。

菱田中学校跡地への誘致予定企業

今後の取り組み姿勢は

問 検討課題への対応状況を町民にどう説明し、透明性ある説明責任を果たすのか。進捗管理や情報公開はどうなっているか。

信頼関係の構築に努める

答 町長　行政の基本は透明性と説明責任の確保であると認識している。広報誌やホームページなどを通じて進捗状況や課題を分かりやすく発信し、住民との対話を大切にしながら信頼関係を築いていく。情報公開も多様な手段で公平・迅速に説明責任を果たす。

共にまちづくりを考えませんか

意見交換を行うグループを募集!

・**開催日時**　令和８年２月末日まで

・**開催場所**　申込書に記載された希望場所を基に、協議のうえ決定

・**応募方法**　右記の申込書に記入のうえ、官製ハガキの裏面へ貼り付けてご提出ください

スマートフォンなどで二次元コード➡を読み取り、入力フォームから申し込むことも可能です。

※今後、全町民を対象にした語る会も開催予定です。

切り取り線

議員と語る会申込書

グループの住所・名称	住所	大崎町
	名称	
	代表者・電話番号	
希望日時	第１希望日時	令和　年　月　日（　）　時　分～
	第２希望日時	令和　年　月　日（　）　時　分～
希望会場		
参加予定人数		

議会のうごき

5月13日、鹿児島県町村議会議長会主催による議員研修会が鹿児島市で開催され、12名の議員全員が出席しました。

今回の研修では、２つの講演があり、まずはじめに「人口減少と地域社会・地方議会」と題して、東京都立大学人文科学研究科の山下祐介教授の講演と、次に「情報とは何か、どう生かすのか」と題して、元ＮＨＫアナウンサー三宅民夫氏の講演がありました。

また、翌日は「加治木ジビエ加工センター」（姶良市加治木町西別府）を訪問し、会社概要やジビエの加工等についてお話を伺いました。当センターは、一般社団法人「加治木猟友会」のメンバーが、令和2年6月に立ち上げたもので、イノシシやシカなどの捕獲、解体処理、販売まで一貫して行っています。説明は代表理事の桑迫輝文様からあり、活発な質疑応答が交わされました。今回ご教示いただいたお話は、今後の本町行政にとって、大変参考となるものになりました。

自主研修（加治木ジビエ加工センターにて）

議案に対する可否状況

6月定例会に上程されたすべての議案等は、全会一致で可決されました。

インタビュー

Pick Up おおさき

気になるあの人に聞いてみました！

大崎町へ令和6年7月に転入された草場さん夫婦に聞きました

腸活でみなさんを健康で幸せに

ALOEVERA 腸活事業
草場（くさば）　洋平（ようへい）さん（志布志市有明町出身）
真緋呂（まひろ）さん（宮崎県国富町出身）

広報広聴常任委員会 副委員長
中倉（なかくら）　広文（ひろふみ）　議員

中倉議員　**大崎町へ移住されたきっかけは何ですか？**

草場洋平さん　転入前は鹿屋市に住んでいました。大崎町内の知人から大崎町では住宅取得補助金を受けられることを教えてもらったのがきっかけで、木入道集落内に令和6年7月に新築住宅を購入しました。

中倉議員　**お仕事はどんなことをされていますか？**

草場洋平さん　今年の3月に民間会社を退職し、現在は腸活事業に関する仕事を夫婦で始めました。

腸活事業とは、簡単に言うと、食生活などの生活習慣を見直し、腸内細菌のバランスなどを改善することで、健康な心身を目指す活動のことで、自宅で講座も開いています。最近は特に、食に対して意識の高い方も多く、いろんな方との交流の場が増えました。

中倉議員　**大崎町に移住して良かったところは何ですか？**

草場真緋呂さん　出産・子育て応援事業や新生児10万円給付金事業などの制度が充実している点は、大崎町の魅力だと思います。

また、町内の子育て支援センターも手厚く、保育園の受け入れ態勢についても私の思いが通じやすく、子育てがしやすいと感じています。

草場洋平さん　私たちは住宅取得補助金制度を利用して家を建てましたが、移住を考えている若い世代は魅力を感じると思いますので、もっとSNS（インスタグラムなど）を活用して情報を発信したほうがいいのではないかと思います。

あと、年末にひとりあたり1万円分の商品券がいただけるのもとてもありがたいです。

中倉議員　**今後の夢や目標があればお聞かせください。**

草場洋平さん　娘のアトピー性皮膚炎発症を機に、食生活改善に関心を持ったのがきっかけで腸活事業を始めたわけですが、まずは家族はもとより、みなさんが健康で幸せになることを望んでいます。

腸活事業に関心のある方は、インスタグラムも開設していますので、ぜひご覧いただければと思います。

◆草場さん、貴重なお話しありがとうございました。

麹を使った発酵食品も販売しています

町民の広場

私の想い

「もう一度、全国大会に」

大崎ソフトボール
スポーツ少年団
監督　石原（いしはら）　広大（こうだい）

4月から伝統ある大崎ソフトボールスポーツ少年団の監督を急きょ引き継ぐことになりました。

私自身も大崎ソフトボールスポーツ少年団のOBであり、長男の入部から外部コーチとして、これまで子どもや監督、コーチ、育成会と共に活動してまいりました。

新年度のチームの目標に、「全国大会へ出場」を掲げスタートを切り、研修センターグラウンドをホームグラウンドとして活動しております。部員は、大崎小、大丸小、中沖小の3校から1～6年生の男女20名です。

6年生9人を含む今年の選手たちは個性ある子たちがそろい、「勝てるチームになろう！」を合言葉に日頃から厳しい練習に取り組んでいます。

県大会準優勝までは厳しい試合の連続で、地区予選では決勝までの4試合中、3試合を逆転勝ちで勝ち上がり、地区大会2位で県大会の切符を獲得しました。

県大会でも決勝までの5試合中、逆転勝ちが3試合と、1試合も気の抜ける試合はありませんでした。子どもたちの成長が強く感じられた大会でした。

監督を引き受けた時点で、一番の目標にしていた20年振りの全国大会の切符を手にしてくれた子どもたち、一緒に練習を指導してくれたコーチ、育成会、その他関係者には、感謝ばかりのスタートになりました。

なお、8月初旬に福井県で行われた第39回全日本小学生男子ソフトボール大会では「一生懸命」を合言葉に、大崎で応援してくださる皆さんの思いを胸に懸命にプレーしてまいりました。子どもたちにとっても、育成会・指導者にとっても最高の夏になりました。

編集後記

黄金色に染まった稲穂が刈り取られていく光景に、豊作への願いが募ります。

さて、6月議会では、大崎第一中学校と菱田中学校の跡地について審議しました。町の未来と住民の暮らしに関わる重要な議題として慎重に議論を重ね、本町の発展を願い可決いたしました。母校として思い出を持つ方々にとっては、「学び舎の新しいかたち」への思いも大きいことと思います。

また、広報広聴常任委員会は新たな体制でスタートしました。より親しみやすく、皆さまに身近な「議会だより」制作に力を尽くしてまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。（岡元　修一）

議会広報広聴常任委員会

委員長　岡元　修一
副委員長　中倉　広文
委員　中山　美幸
委員　宮本　昭一
委員　神﨑　文男
委員　稲留　光晴

発行責任者
大崎町議会議長　吉原　信雄